

パーソナルレター編集システム

SXPLAS



SXPLAS は、SX シリーズ漢字プリンタ・システムを利用するにあたり、印刷データの作成を容易にする帳票編集ソフトウェアです。テキスト、罫線、バーコード、図形、グラフ等の組み合わせによる多彩な帳票レイアウト設計やデータの割付が簡単に行え、プリンタ利用の生産性向上に寄与します。

Windows環境のオープン系データに加えて、汎用機系のデータも取り込むことができます。

生成されるデータは、SXシリーズ APモード用印刷データに加え、PDF形式への出力も可能ですので、紙への印刷だけでなく、画面上での確認や、電子帳票化も同時に行うことができ、保存性に優れています。

SXPLASの主な特長

●プログラミング不要の容易な帳票作成

フォーム編集やオーバーレイ編集は、GUIで簡単にそして詳細に各指定ができます。画面上の電子的な紙にフレーム(枠)を定義し、書体や各種装飾を指定できます。

●高度な組版機能を実現

SXPLASには、スクリプトが標準で用意されています。スクリプトを使えば、個別情報を埋め込んだ文章の自動流し込みをはじめ、葉書の宛名の自動編集(文字サイズ、文字間、行間等の調整)を行なったり、複数のテキストファイルの任意の組合せを行なった上でフレームに読み込むといった事が可能です。

●地図や写真等の画像データ及びビジネスグラフの編集と割付

地図や写真等の画像データやビジネスグラフ等も文字データと同様に自動流し込みが可能です。

●豊富なバーコードに対応

SXPLASでは、豊富なバーコードに対応しております。

- ・カスタマバーコード
- ・QRコード
- ・EAN128
- ・NW-7
- ・JAN標準・短縮
- ・CODE39
- ・物流標準/拡張
- ・Industrial 2 out of 5
- ・Interleaved 2 out of 5

●オープン系データや、JEF・KEISなどの汎用機系データへも対応

SXPLASへの入力となるデータレコード形式は、固定長もしくはCSV※形式となり、様々なコード系に対応しています。

- 2バイト文字 : JEF, IBM, JIPS, JIPSE, KEIS, EUC, SJIS
- 1バイト文字 : EBCDIC, EBCDIK, JIS

※データレコード形式が「CSV」の場合は、EUCとSJISのみ選択可能です。

●プレビュー機能、ローカルプリント機能で事前確認が容易

SXシリーズへのAPモード印刷データを作成する前に、事前確認用に画面へのプレビュー機能や安価なローカルプリンタへの出力テスト等を行う事が可能です。

●「SXPLASデザイナー」によるテスト環境の構築(オプション)

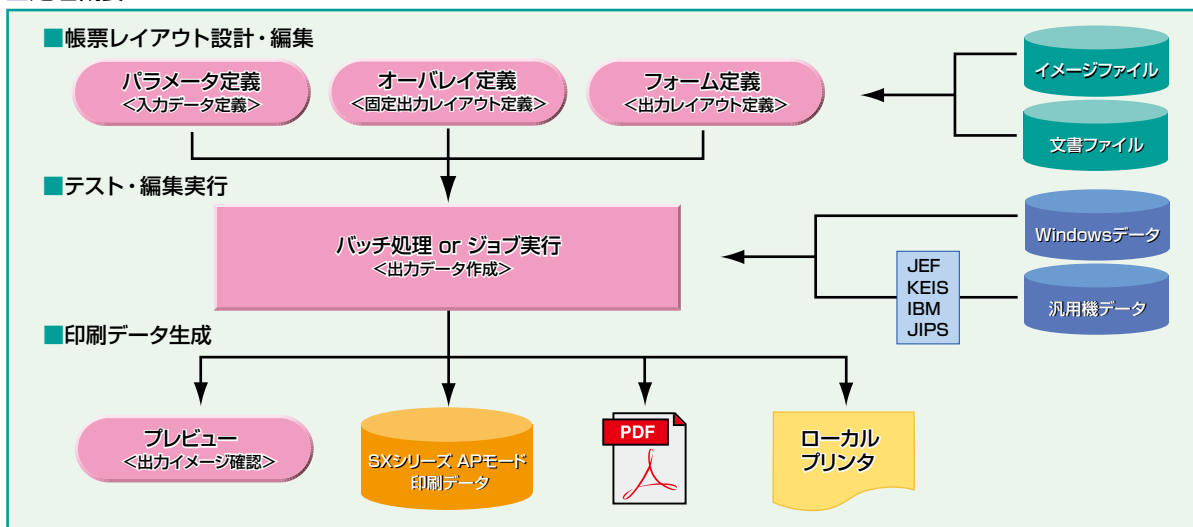
フォーム編集およびテスト実行を行う為のソフトウェアになります。Linux版とWindows版があります。

●上位基幹アプリケーションとの連携機能「SYNCPLAS」(オプション)

SXPLAS と上位基幹アプリケーションとの連携を行う為のソフトウェアです。上位アプリケーションからのデータを参照して、各レコード毎に違うフォームやオーバーレイを利用したり、ホットフォルダを利用して自動でデータを生成する事が可能となります。

SXPLAS パーソナルレター編集システム

■処理概要



■機能概要

●帳票レイアウト設計・編集

帳票の出力体裁定義を行います。定義項目としてはフォーム定義、パラメータ定義とオーバーレイ定義があります。主な編集機能として次のものがあります(オプション機能を含みます)。

フォーム定義	宛名、文章、イメージなどの領域を定義したフォーム版下の作成、編集を行います。 バーコード種類 NW-7、JAN標準-短縮、CODE39、Industrial 2 out of 5 Interleaved 2 out of 5、物流標準、物流拡張、カスタムバーコード、EAN128 QRコード
パラメータ定義	処理すべき入力データの各位置や属性を指定します。 入力データ種類 固定長、CSV形式(2バイト文字がEUC、SJISの場合のみ) 入力コード種類 2バイト文字 : JEF、IBM、JIPS、JIPSE、KEIS、EUC、SJIS 1バイト文字 : EBCDIC、EBCDIK、JIS
スクリプト定義	処理の制御を定義するスクリプトを記述します。
オーバーレイ定義	固定で印刷したい文章、野線、イメージなどの領域を定義したオーバーレイ版下の作成、編集を行います。 グラフ定義を作成し、グラフを生成することができます。種類の違うグラフを組み合わせる事も可能です。
グラフ定義※1	グラフ種類 ステレオグラム、ヒストグラム、ポートフォリオチャート、円グラフ、散布図、折れ線グラフ 多角形グラフ

●データ編集

帳票レイアウト設計・編集で作成された定義情報に基づいて、編集組版処理をバッチで実行します。編集結果は、プレビュー、簡易プリンタへの出力、PDFファイル※1、SXシリーズ APモード用印刷データとして出力できます。

バッチ実行	フォーム版下、パラメータ定義ファイル、プリンタなどを選択し、バッチ処理を実行します。
ジョブ定義・実行	バッチ実行で指定する項目を定型処理用のジョブとして保存し、実行します。
ログ表示	ジョブ実行で実行したジョブのログを表示します。

●印刷資源

オーバーレイ定義で作成されたオーバーレイを登録・管理する機能です。

オーバーレイ登録	オーバーレイ定義で作成されたオーバーレイを利用できるようにSXPLAS用のイメージライブラリに登録します。
印刷資源管理	SXPLAS用イメージライブラリに登録されたオーバーレイデータを管理します。

●ツール

SXPLASを運用していく上で便利なツールが各種搭載されております。

MTユーティリティ	MT操作をGUIで行います。
ナンバリング編集	個別情報ファイルに各種ナンバーを付加したり、新規にナンバーの個別情報ファイルを作成します。
部品ライブラリ	複数のフレームを部品として登録でき、再利用が可能です。
文字コード表	各コード系(JEF-IBMなど)での文字コードを指定して文字を入力できるようにします。
フォーム検索	指定されたテキスト(文字列)やフレーム名、ファイル名を含むフォームを検索します。
資源印刷	フォームに定義しているフレームの順番やスクリプト名、フレーム名などを印刷します。

■動作環境

適応機種(対応OS)※2	SUN SPARCstation/ULTRA シリーズ	Solaris2.6 以上
	パソコン UNIX搭載のパソコン	Solaris2.6 for x86 以上
最小ディスク使用量	Linux	日本語 RedHatLinux6.1 ~
	1GB(デモデータを含む)	
最小メインメモリ	256MB 以上	
スワップメモリ	256MB 以上	

※1 オプション機能となります。

※2 全ての機能を使用するには、CDE(Common Desktop Environment)をインストールする必要があります。



〈安全にお使いいただくために〉

●ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●表示された電源・電圧でお使い下さい。●アース接続を確実に行って下さい。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

※本仕様は改良のため予告なしに変更されることがあります。